

本日はレベル 3 警報発表で臨時休校です。

自然災害に対する備えを大切に！

9月9日（水）

今年も各地で豪雨災害が発生しています。本日は警報発表で臨時休校とします。平成 26 年の丹波市豪雨災害や西日本豪雨など甚大な被害をもたらした豪雨などは、全国どこでも自然災害が避けられない事実を改めて突き付けました。ニュースでは、「普段災害の少ない所でも最大限の警戒を」と言った注意喚起が行われています。

「想定外は想定内」と言った専門家もおられました。地方自治体にも、国に準じる計画の策定に努めるよう求めました。具体的には、児童生徒自身に安全を守るための能力を身に付けさせるために、（1）日常生活における事件・事故、自然災害などの現状、原因および防止方法について理解を深め、現在や将来に直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにすること（2）日常生活の中に潜むさまざまな危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動を取るとともに、自ら危険な環境を改善できるようにすること（3）自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの

重要性を認識して、学校、家庭および地域社会の安全活動に進んで参加し、貢献できるようにすることなどを求めました。これらは、自分の命を守る「自助」にとどまりません。東日本大震災でも、避難所運営で中高生が積極的に役割を発揮する姿が、各地で見られました。安心で安全な社会づくりに参加し、貢献できる力を身に付ける「共助・公助」の視点も重要です。子どもたちは1日の3分の1以上の時間を学校で生活していますが、残りの時間は家庭が中心となります。丹波市豪雨災害も西日本豪雨災害も夜中の時間帯に大きな被害が出ました。家庭でも災害に対する備えなどについて話し合う機会を設けて欲しいと思います。

